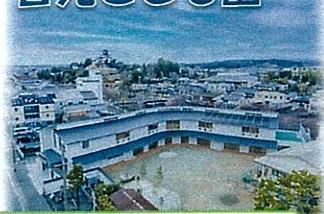


保育理念・保育目標



保育理念 答えは「子ども」のなかに

保育目標 いいね、やってみよう！

～自分でいすき・なかまだいすき・しぜんかいすき～

大自然や大人の見守りの中で、みずからやってみる(体験する)ことで得られる「ほんもの」の感動・不思議・失敗・危機感。そこから工夫や興味や自信が自然とうまれ、飛び立つ準備がはじまります。

定員・1日の流れ

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
3号児			1号児		
45名		45名		45名	
6名	12名	12名	2号児		
15名			15名		15名

時間	7:00	8:00	~9:30	10:00~	12:00~	13:00~	14:15~	15:00	16:30	16:45~	19:00
幼稚園			登園受け 入れ開始 通園バス	登園完了 手活動 11時半以降 順次給食準備	始食の時間 日中遊び 帰りの支度	降園開始 バス運行開始 (預り保育)			17:00 預り保育終了		
短時間											
標準時間			登園受け 入れ開始	通園開始							

私たちとは進化の途中？

おなかの中の胎児であったころの写真を見せてもらったことがありますか？しつばやえらがって…たった一つの細胞から魚→トカゲ→獣→ヒトの胎児の形になって生まれるのです。私たち一人ひとりの遺伝子に38億年の生命の進化が刻まれ、おなかの中からそれを繰り返していることがわかります。そう考えると、子どもはまだまだ進化の途中「今は○○紀、○○時代くらいかしら？私もこうだったのかな？」と見守ることにしています。子どもたちの進化の途中の1ページをとても大事にしています。どの時代がなくても、ヒトという種の発生や文明の発展はなかったからでしょうから。自然やともだち、物語にふれあいながら、「今の自分」と同じなかも見つけられるはず。今の自分を積み重ねて、きっと私たちより一步進化した未来を歩いて行ってくれますね。

はじめまして智光こども園

☆ 智光こども園の保育理念

答えは「子ども」のなかに 学びは「遊び」のなかに ヒトは「自然」のなかに

☆ 智光こども園の保育目標

いいね、やってみよう！～自分でいすき、なかまだいすき、自然だいすき～

大自然や大人の見守りのなかで、みずからやってみる(体験)ことで得られる「ほんもの」の感動、不思議、失敗、葛藤、危機感。そこから工夫や興味や自信が自然とうまれ、飛び立つ準備がはじまります。自由あそびや自然とのふれあいを通して**昼間の兄弟**となる豊かな空間、時間を目指します。



みどころ①手作り家具

教室のコーナーにある家具や小物の多くは理事長、園長の手作り。動きや音など細部にも工夫が。園が「**昼間のおうち**」という**安心の基地**になれるようにといいうねがいにくわえ、「あれほしいから買って～」だけではなく、「あんなのほしいから、どうやって作ろうかな？」という子どもに育ててほしいというねがいが込められています。

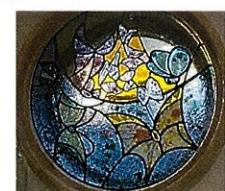
みどころ②丸窓、城見のテラス

お城に似た丸窓は掛川を大好きになってほしいという思いから。それぞれの季節のお城や逆川が子どもの目線で望めます。桜に集まる虫や鳥たちともお話できますね。



みどころ③ステンドグラス

「自然とともに大きくなる子ども」という園の思いをステンドグラス作家中村禮子さんが美しく、のびやかに、表現してくれました。子どもたちが、いろいろな季節や時間帯による光の変化を楽しみ、飛び立ってくれるといいな。



みどころ④おひさま文庫

絵本大好き、自称「万年子ども」の幼稚園理事長から子どもたちへのプレゼント。ひとりじっくりもよし、みんなでうららもよし。大人のお膝のなかで響きを楽しむのもおすすめです。

みどころ⑤園庭

子どもたちは仮に作られた裏の仮園庭が大のお気に入り。木登りしたり、ミミズのうんちをみつけたり。そんな園庭が欲しい！の声にこたえて、でこぼこ、池ぼちや、手押しポンプあり、の園庭が生まれました。力エルや虫、鳥など小さい仲間も集まってくれるといいな。



みどころ⑥先生たちの笑顔

コロナ禍の中、新しい保育、新しい智光こども園にむけ大変なこともありますが、子どものドタバタ、でこぼこ、へんちくりんにいつも笑顔をもらっています。これからもよろしくお願ひします。